

受章おめでとうございます

春の叙勲・危険業務従事者叙勲の受章者を紹介します。

春の叙勲

旭日小綬章(中小企業振興功労)

坂口 康一さん

(滋賀県大津市、73)



昭和46年1月に近江鍛工株式会社代表取締役社長に昇任され、自動圧延機(NC化による圧延自動化システム)の独自開発により、精度の高いリング鍛造品の製造及び小型から大型リングまでの製造を可能にし、工場新設等の旺盛な設備投資、一貫生産管理体制の構築などにより顧客の信用を高めました。これにより売上高の大幅伸張、雇用拡大を実現し、同社をリングロール製造国内有数のメーカーに育てあげられました。また、平成6年6月に松浦市御厨町に長崎工場を開設されるなど地域の経済発展と雇用拡大にも大きく寄与されました。

危険業務従事者叙勲

瑞宝双光章(消防功労)

林田 博光さん

(佐世保市、70)



昭和47年11月に松浦地区消防組合消防本部に採用されて以来、34年の長きにわたり誠実かつ積極的に職務に精励されました。平成元年に消防司令補、平成12年に消防司令、平成13年に消防司令長を歴任し、謹厳実直な性格と職務に取り組む姿勢は責任感が強く、広い見識と指導力は高く評価され、他の職員の間模範的存在となりました。平成3年10月に発生した建物火災および平成8年2月に発生した林野火災では、隊長として現場を指揮し、適切な状況判断と的確な現場指揮により、被害を最小限に食い止めるなど、地域の安全に大きく貢献されました。

瑞宝単光章(海上保安功労)

森山 秀樹さん

(志佐・辻ノ尾、65)



昭和56年10月に門司海上保安部予備員に採用され、昭和57年3月に佐世保海上保安部巡視船かばしま勤務、平成24年3月に福岡海上保安部巡視船ちくぜん主計長の重責を経て、30年の永きにわたり、幾多の危険と困難に向き合いながら身を挺して国家公共のために尽力されました。この間、主に巡視船の主計科職員として庶務や経理等に携わりながら、海上における治安の維持、犯罪の捜査、遭難船舶の救助、船舶交通の安全確保等の海上保安業務に精励し、豊富な経験と優れた知識・技能を生かして海上保安学校教官として後進の指導にも大きく貢献されました。

登録有形文化財(建造物)登録

星鹿町の旧長醫家住宅主屋が、5月2日、国の文化財登録原簿に登録され、松浦市で初の登録有形文化財となりました。

長醫家は、大正時代に伊万里で海運業を展開していた実業家で、旧長醫家住宅は、初代社長夫人のために建てられました。建築面積264・46㎡(地下室付)の数寄屋風の別荘で、建具や内装など、大正時代の様相を留めています。

登録有形文化財建造物は、50年を経過した歴史的建造物のうち、一定の評価を得たものを文化財として登録し、届出制という緩やかな規則を通じて保存が図られ、活用が促進されています。

今後は、適切な保存管理や活用が図られるよう検討を進めていきます。





まちの話題

県境を越えた観光振興

北松浦半島広域観光連携協議会発足式

北松浦半島広域観光連携協議会発足式が、4月20日、市役所で行われました。

この協議会は、西九州自動車道の延伸に伴い、松浦市、平戸市、伊万里市の3市連携による取り組みにより地域活性化を図ることを目的に設置されたもので、今後それぞれの地域資源を活かして観光誘客を図ります。

まずは観光物産フェアや観光プロモーションで3市連携の取り組みの認知を広め、将来的には北松浦半島をひとつのエリアとする広域観光周遊ルートの定着を目指します。

北松浦半島広域観光連携協議会発足式



スポーツで親睦を深める

春季今福町内球技大会

今福町内球技大会(松浦商工会議所今福支部青年部(津田英範部長)主催)が4月23日、今福中学校グラウンドで開催されました。

この大会は、地域住民の親睦と融和を目的に毎年春と秋に開催されており、地域の子どもを交え、女性も男性もソフトボールを楽しみました。今回初参加の「中興化成」を含めた6チームで熱戦が繰り広げられました。

【優勝】中興化成

【準優勝】人柱



みんなでまちをきれいに

鷹島町町内一斉大清掃

鷹島町内一斉大清掃が、4月15日に行われました。

この大清掃は、鷹島町住民で組織する各種団体(鷹島地区長会、市老人クラブ連合会鷹島支部、福鷹商工会鷹島支所、鷹島町更生保護女性会、松浦市鷹島地区青少年健全育成会)などの呼びかけにより、平成23年から始まり、今回で7回目となります。

国指定史跡「鷹島神崎遺跡」をはじめとする町内の観光スポットを訪れる人に、美しい景観を楽しんでもらおうと町民約750人がボランティアとして参加し汗を流しました。



百歳の誕生日をお祝い

久家新市さん

久家新市さん(鷹島町・神崎)が4月23日に100歳の誕生日を迎えました。

久家さんは鷹島町生まれ。奥様が亡くなられてからは20年以上お一人で生活されてきましたが、昨年からは介護療養型医療施設「武部病院」で楽しく生活されています。

この日、久家さんは同施設で家族らに囲まれ、お祝いの言葉と花束を受け取り「町内の方々に見守られ、地域の人達に支えられ98歳まで過ごし、99歳からは大好きな院長先生やスタッフのおかげで100歳を迎えることができました」と感謝の気持ちを述べました。

